

平成25年1月30日
総務部行財政改革推進課

オールインワンシステムについて（案）

（1）オールインワンシステムについて

①オールインワンシステムの導入の経緯

別添「オールインワンシステムの導入の経緯」のとおり

②オールインワンシステムの概要

マネジメントサイクルを効率的・効果的に運用し、政策を着実に推進していくために、従来はそれぞれの仕組み等で運用されてきた以下の機能に必要な情報を集約し、一括して管理する仕組みを構築し、マネジメントサイクルの効果的な運用を図ることとします。

このため、経営方針実践方策とみえ政策評価システムについては、廃止することとします。

〈オールインワンシステムを活用する機能〉

- ・ 経営方針の策定
- ・ 経営方針実践方策（年度計画・目標の設定、計画の進行管理）
- ・ みえ政策評価システム（施策や事業の自己評価）
- ・ 政策協議（評価・改善の検討の場）
- ・ 成果レポート（成果の対外的な説明）
- ・ 勤務評定の業務評価（成果に対する人事評価）
- ・ 前年度評価に基づく事務事業の見直し
- ・ 予算要求・当初予算編成に向けての基本的な考え方（資源配分の検討）
- ・ 重点化施策（仮称）の検討
- ・ 事務引継（内部の事業説明）

③ オールインワンシステムの構成

「オールインワンシステム」は、「組織マネジメントシート」と「事業マネジメントシート」から構成し、一体的に運用管理できる仕組みとして構築していきます。

「組織マネジメントシート」は、知事の示す「経営方針」と常に一貫性を保

って職員全員が行動できるようにするとともに、所属の目指す姿に向かって、仕事の進め方や組織力の向上等に関する年間の行動計画やその目標を明確にし、進捗管理していくシートとします。

「事業マネジメントシート」は、「みえ県民力ビジョン・行動計画」に掲げた目標や事業目的等を着実に実現・達成していくために進捗管理していくシートであるとともに、次年度の戦略・予算などの検討資料や、成果に対する対外的な説明責任を果たす「成果レポート」につながる評価資料としていきます。また、「事業マネジメントシート」はそれぞれの主担当の管理職が、次の単位で作成することとします。

〈事業マネジメントシートの作成単位〉

【選択・集中プログラム単位】	部局長
【施策・行政運営の取組単位】	副部長・次長
【事務事業単位】	課長等

※ なお、基本事業の進行管理と評価については、基本事業単位のシートによらず、施策単位で作成する「事業マネジメントシート」のなかで一体的に進行管理及び評価を行うこととします。

④ オールインワンシステムのスケジュール

当該年度において、速やかに事業を実施する体制とするため、「事業マネジメントシート」は、当初予算の要求段階から着手し、「組織マネジメントシート」は4月初旬に作成します。また、半期ごとに、組織運営や事業の進捗管理をしていきます。詳細のスケジュールは別添「事業マネジメントシート作成と活用の流れ」のとおりとします。

(2) 平成24年度、25年度のスケジュール

平成24年度、25年度のマネジメントシートのスケジュールは、以下及び別添「平成24、25年度の当面の策定スケジュール」のとおりです。なお、24年度事業の評価、改善を確実に実施し、成果レポートを作成し、着実に25年度以降へ反映するため、事業マネジメントシートは24年度分から作成をお願いすることとします。(ただし、24年度の事業マネジメントシート(事務事業)のみ、現行の「みえ政策評価システム」の「基本事業補足シート」の記載項目に準じた暫定的な様式とします。)

平成 24 年度組織マネジメントシートは作成せず、平成 24 年度経営方針実践方策の期末評価を従来のスケジュールで実施してください。

①平成 24 年度事業マネジメントシートの作成スケジュール

2 月～ (i)平成 24 年度事業マネジメントシート（事務事業）を作成

(ii)平成 24 年度事業マネジメントシート（事務事業）の「2. 取組内容とその結果」と「3. 年間実施結果」の「成果と残された課題」、「今後に向けた改善のポイントと取組方向」を平成 24 年度事業マネジメントシート（事務事業総括表）へ基本事業や施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記し、作成。「基本事業」と「選択・集中プログラム」の「実践取組」単位でそれぞれ作成。

(iii) (ii)で作成した平成 24 年度事業マネジメントシート（事務事業総括表）を参考に平成 24 年度事業マネジメントシート（施策、行政運営及び選択・集中プログラム）の「年間実施結果」まで（別表・「期末」欄含む）を作成。（「2. 中間進捗情報」は記載しません）

4 月中旬 平成 24 年度事業マネジメントシート（施策、行政運営、選択・集中プログラム）完成、提出。

4 月 17 日～「春の政策協議」を経て確定

②平成 25 年度マネジメントシートの作成スケジュール

2 月～ (i)平成 25 年度事業マネジメントシート（事務事業）の「1. 事業概要」と「2. 取組詳細」を作成。

4 月～ 平成 25 年度部局長組織マネジメントシート、平成 25 年度事業マネジメントシート（施策、行政運営、選択・集中 P）の作成着手。

春の政策協議日 平成 25 年度部局長組織マネジメントシート案提出

春の政策協議後 「春の政策協議」をふまえて平成 25 年度部局長組織マネジメントシート、平成 25 年度事業マネジメントシート（施策、行政運営、選択・集中プログラム）確定。

【参考】平成 25 年版成果レポートスケジュール（予定 ※県議会日程は想定）

- 5 月上旬 春の政策協議後の原稿再提出期限
- 5 月中旬 政策会議（成果レポート（案）決定）
- 5 月中旬 高速コピー入稿
- 6 月上旬 成果レポート（案）、県議会提示
- 6 月中旬 県議会各行政部門別常任委員会
成果レポート確定原稿期限
- 6 月下旬 成果レポート原稿確定、入稿
- 7 月中旬 成果レポート正本公表

（3）その他

- ・平成 24 年度事業マネジメントシート（施策、行政運営、選択・集中プログラム）の提出期限については、「春の政策協議」の各協議日の 3 日前（週休日は除く）とします。
- ・予算要求にあたっては、原則として「見積書に当然に添付することが求められる資料（積算根拠を示す資料等）」と「事業マネジメントシート（事務事業）」のみとすることとします。
- ・事業マネジメントシート（事務事業）の作成対象は、次の事務事業を除く、すべての事務事業とします。

【対象外とする事務事業】

- ①給与費、公債費、交際費
- ②対象が県組織内部であるとともに政策的判断を要しない内部管理事務
ただし、②の対象事業については、別途指定します。

※公共事業にかかる事業マネジメントシートの作成については検討中

- ・「成果レポート」においては、事業マネジメントシート（施策、行政運営、選択・集中プログラム）のうち、マネジメント資料である「別表」（「基本事業（実践取組）ごとの進捗状況」）を除いた評価表部分を取りまとめ公表します。

事業マネジメントシート（事務事業）は、事業実施結果が確定した段階（成果レポート正本公表後）で、とりまとめ、情報公開窓口へ設置します。

- マネジメントシートは、共通の共有サーバを用意し、保管していただく予定です。準備が整いましたら別途ご連絡します。
- 現在、県サーバ上で評価表（基本事業補足シートを含む）の管理を行っている「みえ政策評価データベース」については、経営方針実践方策とみえ政策評価システムの統合に伴い、廃止します。（ただし、一定期間、MIIS 上で過年度の評価表等を参照できるよう検討します。）

オールインワンシステムの導入の経緯

1 現行システムの課題

オールインワンシステムの導入に当たり、以下について、現行システムの課題ととらえています。

(1) 「みえ政策評価システム」における課題

現行の「みえ政策評価システム」については、導入してから年数が経過しており、職員の負担軽減のため簡略化してきたものの、目的や活用方法等の職員への周知や継続的改善が追いついておらず、形骸化が課題としてあげられます。「みえ行政経営体系」の職員基礎調査でも同様の意見が聞かれ、評価したことが予算配分などにつながる道筋が見えず、職員にとっては何につながる評価かがわかりにくいため、評価の効果を実感できず負担感だけが募っています。昨年度実施した「三重県版事業仕分け」では、仕分け人に対して事務事業そもそもの目的や効果が十分に説明できない状況が多く見受けられたこともあり、政策評価におけるシステムを改善するにあたっては、それぞれの事務事業の目的、効果と課題について明確に整理できるものであることが望まれます。

また、「みえ政策評価システム」のアンケート結果においては、成果レポートや予算説明資料として議会等に提出されている施策、重点事業の評価と違って、基本事業の評価は具体的に使用されていないことも意見としてあがっています。

(2) 「みえ行政経営体系」における課題

現行の「みえ行政経営体系」については、行政経営全般におけるPDSサイクルを回していくことをねらいとして、P（戦略策定）、D（戦略展開）、S（評価）の各段階で経営方針、経営方針実践方策、みえ政策評価システムといったツールを活用しているものの、それぞれのツールが独立しているために、仕組み間の連携が見えにくく、特にD→SやS→Pというつながりがうまくいっていません。そのため、計画を立てること、評価をすることといったそれぞれの仕組みが目的となってしまう傾向や、達成できなかったことに対する原因（課題）の洗い出しや課題の解決に向けた検討が不足するなど、十分な改善につながらない状況があります。それぞれの仕組みが独立していることは、年度計画・目標の設定、施策や事業の自己評価、予算要求等それぞれの場に応じて資料を作成することにもつながり、事務が煩雑となっていることも課題としてとらえています。

また、現行の「みえ行政経営体系」のスケジュールについては、前年度評価を当該年度に行い、その評価結果は、当該年度には活かされず次年度予算にしか反映できず、1年間の空白が生じていることや、前年度の評価を踏まえ、今年度の計画を5月～6月に立てることとなっており、年度当初からの事業実施という意味では、スピード感のある年度計画とは言えない状況があります。

2 オールインワンシステムの目的

こうした課題をふまえ、改善するためにオールインワンシステムを導入します。その目的は次のとおりです。

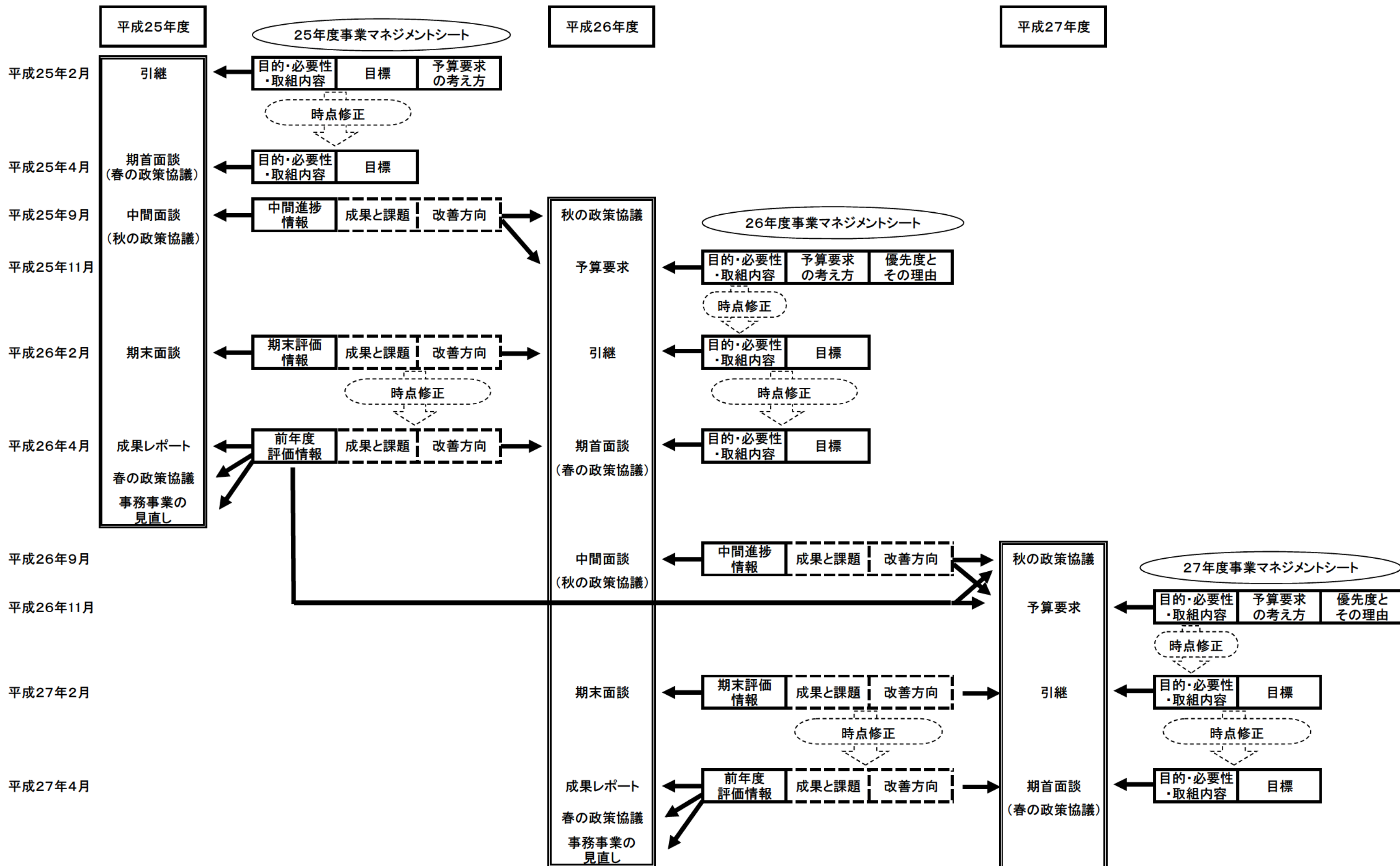
- PDCAサイクルをそれぞれの仕組みで運用するのではなく、1つの仕組み（オールインワンシステム）とすることでPDCAサイクルの機能を強化し、評価、改善を確実に計画につなげるとともに1つの様式を様々な場面で活用することで資料作成の手間を効率化することを目的とします。
- 前年度の評価を確実に次年度経営方針、予算編成に活かし、それに加え当該年度の中間期の進捗情報を確認し、1年間の空白をおかずタイムリーに次年度経営方針、予算編成に反映することを目的とします。
- PDCAサイクルのC（評価）、A（改善）をP（計画）につなげていくことを職員に意識づけることを目的とします。そもそも事業の目的、目標は何かを十分議論し、目標が達成できなかったことに対する原因は何かを検討する機会をつくることを目的とします。

(参考)

職階別に作成すべきマネジメントシート

1. 「選択・集中プログラム」を担当する部局長
組織マネジメントシート
事業マネジメントシート（選択・集中P）
2. 「選択・集中プログラム」を担当しない部局長
組織マネジメントシート
3. 「施策」を担当する副部長・次長
組織マネジメントシート
事業マネジメントシート（施策）
4. 「施策」を担当しない副部長・次長
組織マネジメントシート
5. 本庁で「基本事業」を担当する課長
組織マネジメントシート
事業マネジメントシート（事務事業総括表）
事業マネジメントシート（事務事業）
6. 本庁で「基本事業」を担当しない課長
組織マネジメントシート
（事業マネジメントシート（事務事業））
7. 特命職及び地域機関の所長・室長等
組織マネジメントシート

事業マネジメントシート作成と活用の流れ

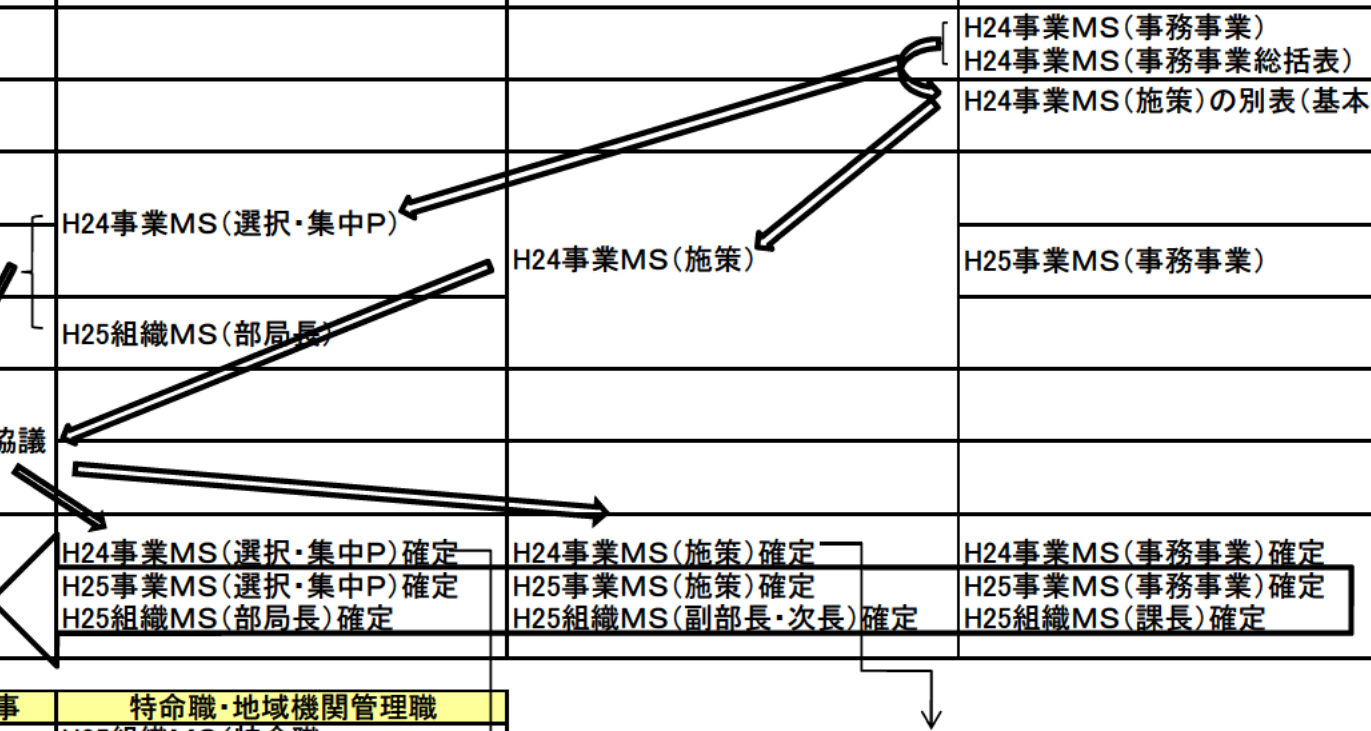


平成24、25年度の当面の策定スケジュール

時期	全庁行事	部局長	副部長・次長	課長
2月	上旬			
	中旬			
	下旬			H24事業MS(事務事業) H24事業MS(事務事業総括表)
3月	上旬			H24事業MS(施策)の別表(基本事業部分)
	中旬			
	下旬	H24事業MS(選択・集中P)	H24事業MS(施策)	H25事業MS(事務事業)
4月	上旬	H25組織MS(部局長)		
	中旬	春の政策協議		
	下旬			
5月	上旬	H24事業MS(選択・集中P)確定 H25事業MS(選択・集中P)確定 H25組織MS(部局長)確定	H24事業MS(施策)確定 H25事業MS(施策)確定 H25組織MS(副部長・次長)確定	H24事業MS(事務事業)確定 H25事業MS(事務事業)確定 H25組織MS(課長)確定
	中旬	期首面談		

時期	全庁行事	特命職・地域機関管理職
5月	上旬	
	中旬	期首面談

成果レポート



平成〇〇年度〇〇〇長 組織マネジメントシート

1 所属の業務計画

使命・存在目的	※ 所属は、県民にどのような成果・果実を届けるべき存在・役割なのかを簡潔にまとめてください。
---------	--

※ 所属の所管業務について、重点的に取り組む業務に関する当該年度の実施計画を記載します。

業務名	取組内容・目標	中間	期末	重点
※ 所管している業務ごとにその名称を記載してください。	※ 左記の業務ごとに本年度の取組を箇条書き等で簡潔に列挙してください。また、取組内容ごとに業務の目標（できる限り定量目標）を記載してください。			
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 管理職員勤務評定に使用するため、重要度に応じて組織マネジメントシートに掲げる全ての目標項目（2所属の運営計画含む）から、10程度を選択し、合計が100%となるようこの欄でウェイトづけします。 </div>				
事業マネジメントシートに記載する事業については、次のように記載します。				
【記載例】 〇〇事業	事業マネジメントシートに記載	—	—	10
〇〇事業 (細々事業)	事業マネジメントシートに記載	—	—	
△△事業				10
××事業				
■■事業				10

進捗管理	中間	期末
成果と残された課題	上記の業務計画に関する上半期の進捗状況や成果・課題等について、簡潔に記載してください	上記の業務計画に関する期末の進捗状況や成果・課題等について、簡潔に記載してください。
改善のポイントと取組方向	上記の評価を踏まえて、下半期に向けた改善の方向性・対策等について、簡潔に記載してください。	上記の評価を踏まえて、次年度に向けた改善の方向性・対策等について、簡潔に記載してください。

2 所属の運営計画（経営方針行動指針の実践取組）

運営ビジョン	<p>※ 所属の運営（チームワーク、職員の能力開発、仕事への取組姿勢、仕事の進め方など）の理想的な状態について、具体的にイメージができるようにわかりやすく簡潔にまとめてください。</p> <p>※ 経営方針行動指針や上位職の運営ビジョンを踏まえ、策定してください。</p>
--------	--

（1）職員力・組織力の向上

区分	取組内容	目標	中間	期末	重点
職員の能力開発	<p>※ 「三重県職員人づくり基本方針」に掲げる「目指すべき職員像」実現に向けた取組</p> <p>※ 職員の専門的知識や業務遂行能力等を高める取組</p> <p>※ 所属内のOJTの推進にかかる取組</p>	※ 取組の目標（できる限り定量目標）を記載してください。			
チームワークの向上や職員の意欲の増進	※ 所属内のコミュニケーションの促進や協力体制の構築等、組織力向上や職員の意欲向上につながる取組	※ 取組の目標（できる限り定量目標）を記載してください。			

コンプライアンス確立に向けた意識向上	※ コンプライアンスの確立に向けて、職員の使命感や倫理観を高める取組	※ 取組の目標(できる限り定量目標)を記載してください。			10
進捗管理	中間	期末			
成果と残された課題	上記の職員力・組織力向上に関する上半期の進捗状況や成果・課題等について、簡潔に記載してください	上記の職員力・組織力向上に関する期末の進捗状況や成果・課題等について、簡潔に記載してください			
改善のポイントと取組方向	上記の評価を踏まえて、下半期に向けた改善の方向性・対策等について、簡潔に記載してください。	上記の評価を踏まえて、次年度に向けた改善の方向性・対策等について、簡潔に記載してください。			

(2) 業務改善等の推進

区分	取組内容	目標	中間	期末	重点
総勤務時間縮減	<ul style="list-style-type: none"> ※ 抜本的な業務削減に向けた取組 ※ より効率的な業務の進め方の導入検討やプロセス改善の取組 ※ 休暇取得促進の取組 	※ 取組の目標(できる限り定量目標)を記載してください。			10
県民サービス・事業効果等の向上	<ul style="list-style-type: none"> ※ 県民サービス・事業効果を高めるための改善取組 ※ コスト削減など費用対効果を高める改善取組 ※ 業務の環境負荷を低減する取組 ※ 県民ニーズの把握や情報発信など広聴広報の実効性を高める取組 	※ 取組の目標(できる限り定量目標)を記載してください。			

<p>危機管理</p>	<p>※ 危機発生の未然防止に向けた取組</p> <p>※ 発生した危機の再発防止に向けた取組</p> <p>※ 的確な危機対応に向けた備え</p>	<p>※ 取組の目標(できる限り定量目標)を記載してください。</p>			
<p>進捗管理</p>	<p>中間</p>		<p>期末</p>		
<p>成果と残された課題</p>	<p>上記の業務改善等の推進に関する上半期の進捗状況や成果・課題等について、簡潔に記載してください。</p>	<p>上記の業務改善等の推進に関する期末の進捗状況や成果・課題等について、簡潔に記載してください。</p>			
<p>改善のポイントと取組方向</p>	<p>上記の評価を踏まえて、下半期に向けた改善の方向性・対策等について、簡潔に記載してください。</p>	<p>上記の評価を踏まえて、次年度に向けた改善の方向性・対策等について、簡潔に記載してください。</p>			

緊急課題解決 1

命を守る緊急減災プロジェクト

【主担当部局：防災対策部】

プロジェクトの目標

県民の皆さんの命を守ることを最優先として緊急かつ集中的に取り組むべき対策を定めた「三重県緊急地震対策行動計画」や新たに策定する「三重県新地震対策行動計画（仮称）」、災害に強い地域づくりをめざす「三重風水害等対策アクションプログラム」等の計画に基づく取組を確実に進めていきます。また、市町をはじめ関係機関との連携を充実させ、「備えるとともに、まず逃げる」ための対策や防災教育の推進、避難経路の確保、避難場所の確保、避難誘導員の育成、自然災害に備える基盤施設の整備等に重点的に取り組むこととして、「みえ県民力ビジョン・行動計画」（以下、「行動計画」という。）の同名欄から転記

評価結果を踏まえたプロジェクトの進展度と判断理由

進展度	B (ある程度進んだ)	判断理由	全ての指標等で 24 年度目標値を達成しており、県内各地で「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が進んでいること、評価と判断しました。
-----	----------------	------	--

A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）から選択

プロジェクト（プログラム）の数値目標

目標項目	23 年度 現状値	24 年度 目標値 実績値	25 年度 目標値 実績値	26 年度 目標値 実績値	27 年度 目標値 実績値	目標達成状況
緊急減災に向けた行動項目（アクション）の進捗率	—	43.0%	〇〇%	—	50.0%	1.00
	39.5%	〇〇%	—	—	—	

目標項目の説明と平成 25 年度目標値の考え方

目標項目の説明	県関係部局が減災に向けて緊急に取り組む行動項目（アクション）の進捗率の平均値
25 年度目標値の考え方	平成 24 年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成 25 年度においては、当初の計画通り、毎年平均〇%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

実践取組の目標

実践取組	年次計画のうち主なもの	24 年度 目標値	24 年度 実績値	25 年度 目標値	目標達成 状況
1 「逃げる」ための課題解決について	新地震対策行動計画（仮称）の進捗率				
	防災講演会、研修会等への参加促進				
2 地震による建物被害軽減に向けた課題を解決するために	耐震基準を満たした住宅の割合				

(単位：百万円)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等				
概算人件費				

平成 24 年度の取組概要

- ・平成 24 年度の取組結果（県の活動結果）の概要を、「箇条書き」かつ「体言止め」で記載
- ・MS明朝 11 p t。行間 1 行。
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および二次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・県内の木造住宅における耐震化率の向上
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路（〇〇路線）の改良

【中間進捗状況】

平成 24 年度の上半期の成果と残された課題

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※全ての構成事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。
- ・MS明朝 11 p t。行間 1 行。

平成 24 年度の下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向

- ・上記、24 年度の上半期の成果や残された課題を踏まえた 24 年度の下半期及び翌年度の取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民カビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。
- 例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。一方、■ ■については課題となっていることから〇〇等の対策を進めます。MS明朝 11 p t。行間 1 行。

【年間実施結果】

平成 24 年度の成果と残された課題

- ・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※全ての基本事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。
- ・MS明朝 11 p t。行間 1 行。

平成 25 年度の改善のポイントと取組方向

- ・ 上記、24 年度の成果や残された課題を踏まえた 25 年度の実行方向を記載。
 - ※ 「みえ県民力ビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。
 - ※ 経営方針や春・秋の政策協議での議論も踏まえて、25 年度に注力する取組を中心に記述。
- 例) ○○について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。なお、■■が課題となっていることから、あらたに○○等の対策を進めます。
- ・ MS 明朝 11pt。行間 1 行。

【別表】実践取組ごとの進捗状況 （【緊急1】命を守る緊急減災プロジェクト）

【実践取組1】「『逃げる』ための課題」を解決するために		
	中間	期末
取組概要		
成果と課題		
下半期（翌年度）に向けた改善方向	【下半期】	
	【翌年度】	

【実践取組2】「地震による建物被害軽減に向けたの課題」を解決するために		
	中間	期末
取組概要		
成果と課題		
下半期（翌年度）に向けた改善方向	【下半期】	
	【翌年度】	

【主担当部局：教育委員会】

プロジェクトの目標

子どもたちが、自らの夢の実現をめざし、主体的に学び、自信と意欲、高い志を持って輝く未来を切り拓いていく力とともに、他者との関わりの中で、共に支え合い、新しい社会を創造していく力を身につけています。

この実現に向け、4年後には、学校・家庭・地域が一体となって、県民総参加で子どもたちの学力向上を支援する取組が進められ、各学校では、教職員の授業力の向上などにより継続的な授業改善が行われ、
 ・「みえ県民力ビジョン・行動計画」（以下、「行動計画」という。）の同名欄から転記

評価結果を踏まえたプロジェクトの進展度と判断理由

進展度	A (進んだ)	判断理由	全ての指標等で24年度目標値を達成しており、県内各地で子どもの学力向上に向けて、学校、家庭、地域が連携した多くの取組が始まっていることから、進んだと判断しました。
-----	------------	------	---

A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）から選択

プロジェクト（プログラム）の数値目標

目標項目	23年度 現状値	24年度 目標値 実績値	25年度 目標値 実績値	26年度 目標値 実績値	27年度 目標値 実績値	目標達成状況
授業内容を理解している子どもたちの割合	—	82.0%	83.0%	—	85.0%	〇〇.〇
	81.2%	82.5%	—	—	—	

目標項目の説明と平成25年度目標値の考え方

目標項目の説明	県内の公立小学校5年生、中学校2年生、高等学校2年生で学校の授業内容が「よくわかる」「だいたいわかる」と回答した子どもたちの割合
25年度目標値の考え方	平成24年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成25年度においては、当初の計画通り、毎年平均〇%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

実践取組の目標

実践取組	年次計画のうち主なもの	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	目標達成 状況
1 「県民総参加による学力の向上」に挑戦します	子どもたちの学力や学習・生活の状況を客観的に把握し、教育指導の改善に生かしている公立小中学校の割合	70.0%	71.0%		〇.〇〇
2 「地域に開かれた学校づくり」に挑戦します	地域住民等による学校支援に取り組んでいる市町数	8市町	8市町		〇.〇〇
3 「教職員の授業力向上」に挑戦します	研修内容を「自らの実践に活用できる」とする教職員の割合	91.0%	92.0%		〇.〇〇
4 「安心して学べる環境づくり」に挑戦します	1,000人あたりの不登校児童生徒数	11.4人	11.4人		〇.〇〇

(単位：百万円)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等				
概算人件費				

平成 24 年度の取組概要

・平成 24 年度の取組内容（県の取組（活動）結果）を、箇条書きで記載

【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施

- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および二次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・県内の木造住宅における耐震化率の向上
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路（〇〇路線）の改良

【中間進捗状況】

平成 24 年度の上半期の成果と残された課題

・上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。

※ 全ての構成事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。（MS 明朝 11pt。行間 1 行）

※ 「協創」を象徴する取組であり、その進展度を評価する観点から、以下の視点を踏まえて 24 年度の取組成果と残った課題を記載する。

【記載にあたっての 3 つの視点（「みえ県民カビジョン」の県政運営の基本姿勢より）】

「県民力養成支援」：県民一人ひとりが自らの意欲と能力に応じて、積極的に社会に参画することができるよう、自立し行動する県民となるための支援を行います

「県民力拡大支援」：県民の皆さんがさまざまなつながり、絆のもとに、社会で活動することが広がるよう、仲間と一緒に社会をよくする取組への支援を行います

「県民力発揮支援」：県民の皆さんが主体として活躍できる場が増えるよう、これまで県が主導してきた場を開放していくなど、県の事業のあり方を見直します

平成 24 年度の下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向

・上記、24 年度の上半期の成果や残された課題を踏まえた 24 年度の下半期及び翌年度の取組方向を記載。

※ 「みえ県民カビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。

例) 〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。一方、■々については課題となっていることから〇〇等の対策を進めます。・MS 明朝 11pt。行間 1 行。

【年間実施結果】

平成 24 年度の成果と残された課題

- ・ 上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※ 全ての構成事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民カビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。(MS明朝11pt。行間1行)
- ※ 「協創」を象徴する取組であり、その進展度を評価する観点から、以下の視点を踏まえて24年度の取組成果と残った課題を記載する。
 - 【記載にあたっての3つの視点(「みえ県民カビジョン」の県政運営の基本姿勢より)】
 - 「県民力養成支援」: 県民一人ひとりが自らの意欲と能力に応じて、積極的に社会に参画することができるよう、自立し行動する県民となるための支援を行います
 - 「県民力拡大支援」: 県民の皆さんがさまざまなつながり、絆のもとに、社会で活動することが広がるよう、仲間と一緒に社会をよくする取組への支援を行います
 - 「県民力発揮支援」: 県民の皆さんが主体として活躍できる場が増えるよう、これまで県が主導してきた場を開放していくなど、県の事業のあり方を見直します

新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議における主な意見

- ・ プロジェクト毎の新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議の各委員からいただいた意見のうち、主な内容について記述する。

平成 25 年度の改善のポイントと取組方向

- ・ 上記、24年度の成果や残された課題を踏まえた25年度を取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民カビジョン・行動計画」での「プロジェクトの目標」等の記載も踏まえて記述。
- ※ 経営方針や春・秋の政策協議での議論も踏まえて、25年度に注力する取組を中心に記述。
例) ○○について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。なお、■■が課題となっていることから、あらたに○○等の対策を進めます。
- ・ MS明朝11pt。行間1行。

【別表】実践取組ごとの進捗状況（【新豊1】未来を築く子どもの学力向上協創プロジェクト）

【実践取組1】「県民参加による学力の向上」に挑戦します！		
	中間	期末
取組概要		
成果と課題		
下半期（翌年度）に向けた改善方向	【下半期】	
	【翌年度】	

【実践取組2】「地域に開かれた学校づくり」に挑戦します！		
	中間	期末
取組概要		
成果と課題		
下半期（翌年度）に向けた改善方向	【下半期】	
	【翌年度】	

施策 1 1 1

防災・減災対策の推進

【主担当部局：防災対策部】

県民の皆さんとめざす姿

県民の皆さんや県、市町および防災関係機関などのさまざまな主体が、自然災害の厳しさを共有し、防災・減災に向けてそれぞれの役割を果たすとともに、「協創」の取組が進み、災害に強い社会が形成されています。

平成 27 年度末での到達目標

東日本大震災で明らかとなった課題や問題点をふまえた防災計画が策定されるとともに、「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が行われ、災害を最小限に抑える体制づくりが進んでいます。また、防災教育が充実し、人材が育成され、県民の皆さんの自主的な防災活動が進み、地域の災害対応力が強化されています。

評価結果をふまえた施策の進展度と判断理由

進展度	B (ある程度進んだ)	判断理由	全ての指標で 24 年度目標値を達成しており、県内各地で「自助」「共助」「公助」による防災・減災対策が進んでいることから「ある程度進んだ」と判断しました。
-----	----------------	------	---

県民指標

目標項目	23 年度 現状値	24 年度 目標値 実績値	25 年度 目標値 実績値	26 年度 目標値 実績値	27 年度 目標値 実績値	目標達成状況
率先して防災活動に参加する県民の割合	—	43.0%	〇〇%	—	50.0%	1.00
	39.5%	〇〇%	—	—	—	

目標項目の説明と平成 25 年度目標値の考え方

目標項目の説明	過去 1 年間に地域・職場での防災活動に参加したことがある県民の割合(防災企画・地域支援課調べ)
25 年度目標値の考え方	平成 24 年度は、〇〇〇に集中的に取り組んだ結果、目標値を達成しました。このため、平成 25 年度においては、当初の計画通り、毎年平均3%程度の向上をめざし目標値を設定しました。

活動指標

基本事業	目標項目	24 年度 目標値	24 年度 実績値	25 年度 目標値	目標達成 状況
11101 新たな防災・減災対策の計画的な推進(防災対策部)	新地震対策行動計画(仮称)の進捗率	—	—	〇〇%	1.00
11102 災害対応力の充実・強化(防災対策部)	県・市町・防災関係機関等が連携して実施する防災訓練の回数	6 回	〇回	〇回	1.00
11103 「協創」による地域防災力の向上(防災対策部)	自主防災組織の実践的な訓練実施率	29.0%	〇〇%	〇〇%	1.00
11104 迅速な対応に向けた防災情報の共有化(防災対策部)	県防災情報メール配信サービスの登録者数	40,000 人	〇〇〇〇 人	〇〇〇〇 人	1.00

基本事業	目標項目	24年度 目標値	24年度 実績値	25年度 目標値	目標達成 状況
11105 災害医療体制の整備（健康福祉部）	災害拠点病院等の耐震化率	71.4%	〇〇%	〇〇%	1.00
11106 安全な建築物の確保（県土整備部）	耐震基準を満たした住宅の割合	84.5%	〇〇%	〇〇%	1.00
11107 緊急輸送ルート の整備（県土整備部）	緊急輸送道路に指定されている 県管理道路の改良率	91.2%	〇〇%	〇〇%	1.00
11108 消防力向上への 支援（防災対策部）	消防設備等の充足率	83.3%	〇〇%	〇〇%	1.00
11109 高圧ガス等の保 安の確保（防災対策部）	高圧ガス等施設における事故 発生防止率	100%	〇〇%	〇〇%	1.00

（単位：百万円）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
予算額等					
概算人件費					
（配置人員）					

平成 24 年度 of 取組概要

- ・平成 24 年度 of 取組結果（県の活動結果） of 概要を、「箇条書き」かつ「体言止め」で記載
- ・MS 明朝 11 p t。行間 1 行。
- 【例】・総合防災訓練・防災拠点訓練・図上訓練など、県、市町、防災関係機関等が連携して実施する防災訓練を〇〇回実施
- ・自主防災組織による、津波避難訓練、避難所運営訓練などの実践的な訓練の実施
- ・〇〇病院、△△病院など、災害拠点病院および二次救急医療機関の耐震工事の実施
- ・県内の木造住宅における耐震化率の向上
- ・第 1 次および第 2 次緊急輸送道路に指定されている県管理道路（〇〇路線）の改良

【中間進捗情報】

平成 24 年度 of 上半期 of 成果と残された課題

- ・上記、県の取組の結果、上半期にどのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
- ※全ての基本事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民力ビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」 of 記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載。
- ・MS 明朝 11 p t。行間 1 行。

平成 24 年度 of 下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向

- ・上記、24 年度 of 上半期 of 成果や残された課題を踏まえた 24 年度下半期及び翌年度 of 取組方向を記載。
- ※ 「みえ県民力ビジョン・行動計画」での「変革の視点」も踏まえて記述。
- 例）〇〇について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。一方、■ ■については課題となっていることから〇〇等の対策を進めます。MS 明朝 11 p t。行間 1 行。

【年間実施結果】

平成 24 年度の成果と残された課題

- ・ 上記、県の取組の結果、どのような成果が得られたか記載する。残った課題をあわせて記載する。
※ 全ての基本事業について網羅的・体系的に書くのではなく、特に成果があったものや残された課題があるものについて記載するとともに、「みえ県民力ビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえた取組の注力の度合いに応じて記載
- ・ MS 明朝 11pt。行間 1 行。

平成 25 年度の改善のポイントと取組方向

- ・ 上記、24 年度の成果や残された課題を踏まえた 25 年度を取組方向を記載。
※ 「みえ県民力ビジョン・行動計画」での「変革の視点」も踏まえて記述。
例) ○○について成果が生まれつつあることから引き続き取り組みます。一方、■■については課題となっていることから○○等の対策を進めます。
- ・ MS 明朝 11pt。行間 1 行。

特に注力するポイント(平成 25 年度)【防災対策部 次長 ○○ ○○ 電話:059-224-1111】

- 施策を所管する担当次長(副部長)として、「みえ県民力ビジョン」や「経営方針」、「成果レポート」の記述を踏まえて 25 年度に特に注力するポイントについて記載する。
- ・ MS 明朝 11pt。行間 1 行。

【別表】基本事業ごとの進捗状況

(施策名：【111】防災・減災対策の推進)

基本事業【11101】新たな防災・減災対策の計画的な推進		
	中間	期末
取組概要		
成果と残された課題		
下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向	【下半期】	
	【翌年度】	
特に戦略性、緊急性等に影響を与える環境変化等	【翌年度】	【翌々年度】
	※H25 シートで H26 について記入	※H24 シートで H26 について記入
重点化施策の選定で考慮すべき、環境変化や政策課題が明らかになっている場合に記載する。		

基本事業【11102】災害対応力の充実・強化		
	中間	期末
取組概要		
成果と残された課題		
下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向	【下半期】	
	【翌年度】	
特に戦略性、緊急性等に影響を与える環境変化等	【翌年度】	【翌々年度】

平成〇〇年度事業マネジメントシート（事務事業総括表・選択・集中P）

1. 中間進捗情報

選択・集中P名			
実践取組名			
細事業名	取組概要	成果と残された課題	下半期〔翌年度〕に向けた改善のポイントと取組方向
※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記 〔下半期〕 〔翌年度〕

2. 年間実施結果

選択・集中P名			
実践取組名			
細事業名	取組概要	成果と残された課題	今後に向けた改善のポイントと取組方向
※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記

平成〇〇年度事業マネジメントシート（事務事業総括表）（施策・行政運営）

1. 中間進捗情報

施策名			
基本事業名			
細事業名	取組概要	成果と残された課題	下半期（翌年度）に向けた改善のポイントと取組方向
※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記 〔下半期〕 〔翌年度〕

2. 年間実施結果

施策名			
基本事業名			
細事業名	取組概要	成果と残された課題	今後に向けた改善のポイントと取組方向
※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記

平成〇〇年度事業マネジメントシート（事務事業）

*は事務事業総括表へ反映

担当課 〇〇部〇〇局 〇〇課

1 事業概要

細事業名 *							区分	※継続、 新規の別
施策		111	【例】防災・減災対策の推進					
基本事業		11101	【例】新たな防災・減災対策の計画的な推進					
		目標項目		前年度現状値		27年度目標値		
選択・集中		緊1	【例】命を守る緊急減災プロジェクト					
重点化施策		重点						
根拠 (法令等)		※事業実施の根拠となる法令や条例、個別計画等を記載する。						
予算 額 等	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	予算額	※千円						
	決算額							
事業の目的		※事業の対象、働きかける対象、対象数などを具体的に記載する。 ※事業の対象、働きかける対象がどのような状態になることを狙っているのか、実現したい状態など。						
事業目標		※事業目的をふまえて本年度に達成すべき状態（定性目標）や事業効果をあらわす定量目標を記載。 ※目標を変更した場合は、見え消し修正する。						
前年度からの変更点		※継続事業で前年度からの変更点があれば記載する。						
事業の必要性と期待される効果		※目的達成を目指していくため当該事業がなぜ必要であるか。期待される効果は何か。 ※継続事業の場合は、現在の事業内容が環境変化等に照らし合わせて目的達成を目指す中で適当か、必要かをあわせて記載する。						

2 取組詳細

取組概要

※事業の概要を記載する。(どういった主体が事業を実施し、県の役割はどういったものかわかるように記載する。)

*

取組内容等

※細事業単位もしくは細々事業単位により、【取組内容】、【当初予算額(うち県費額)】、【年度内の変更】を記載する。

※【取組内容】取組内容を記載(「連携する」、「支援する」ではなく、「何を行うか」を記載する)

※【当初予算額(うち県費額)】細事業単位もしくは細々事業単位の合計の当初予算額を記載する。

3 中間進捗情報

成果と残された課題*

※事業目的に照らして、どのような成果が得られたかを記載する。下半期に向けて残った課題をあわせて記載する。

※ 事業目的を達成するために、事業の実施方法に問題がなかったかを整理する。

下半期(翌年度)に向けた改善のポイントと取組方向*

※残った課題に対して、下半期及び翌年度に向けて見直すべき取組はないかを検討し、今後の取組を整理する。

[下半期]

[翌年度]

4 年間実施結果

取組結果

※年間の取組結果（実績）を記載する。

成果と残された課題*

(1) 成果

※ 事業目的に照らして、どのような成果が得られたかを記載する。

(2) 課題

※ 事業目的を達成するために、次年度に向けて残った課題を記載する。

(3) 事業実施方法の検証

※ 効率的・効果的に事業目的を達成するために、事業の実施方法に問題がなかったかを整理する。

見直しの視点^{注1}

事業目的の妥当性 県関与の必要性 手段の有効性 手段の効率性 緊要性
該当なし

見直しの方向

廃止(廃止) 廃止(民営化) 廃止(国へ移譲) 廃止(市町へ移譲) 廃止(休止)
見直し・縮小(要改善) 統合化(要改善) 終期設定(要改善) 現行通り 拡充

民間活力の活用^{注2}

人材派遣 業務委託・包括委託 PFI・等 公設民営・民設公営・民設民営
指定管理者制度 地方独立行政法人 協働・連携 現行通り

今後に向けた改善のポイントと取組方向*

(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由

※ 見直しの視点・方向、民間活力の活用で該当する項目を選択した理由を記載する。

(2) 課題への対応

※ 残った課題に対して、次年度に向けて見直すべき取組はないかを検討し、今後の対応を整理する。

(3) 事業実施方法の改善

※ 効率的・効果的な事業実施のために、どのような改善を行う必要があるかを整理する。

【注1】

詳細は、別紙「事務事業の見直しの視点」の5つの視点を参照

【注2】

詳細は、別紙「三重県民間活力等活用指針（仮称）」を参照

平成 24 年度事業マネジメントシート（事務事業総括表）（選択・集中P）

年間実施結果

選択・集中P名			
実践取組名			
細事業名	取組内容とその結果	成果と残された課題	今後に向けた改善のポイントと取組方向
※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記

平成 24 年度事業マネジメントシート（事務事業総括表）（施策・行政運営）

年間実施結果

施策名			
基本事業名			
細事業名	取組内容とその結果	成果と残された課題	今後に向けた改善の ポイントと取組方向
※事業マネジメントシートから転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記	※事業マネジメントシートから施策、行政運営、選択・集中プログラムと関係の深い部分のみ転記

平成24年度事業マネジメントシート（事務事業）

*は事務事業総括表へ反映

担当課 ○○部○○局 ○○課

1 事業概要

細事業名 *				区分	※継続、 新規の別
施策	111	【例】防災・減災対策の推進			
基本事業	11101	【例】新たな防災・減災対策の計画的な推進			
		目標項目	23年度現状値	27年度目標値	
選択・集中	緊1	【例】命を守る緊急減災プロジェクト			
予算額等	年度	平成23年度		平成24年度	
	予算額				
	決算額				
事業の目的	※事業の対象、働きかける対象、対象数などを具体的に記載する。 ※事業の対象、働きかける対象をどのようにしたいのか、何を目的、意図してやっているのか、実現したい状態など。				

2 取組内容とその結果 *

3 年間実施検証

成果と残された課題*

(1) 成果

※ 事業目的に照らして、どのような成果が得られたかを記載する。

(2) 課題

※ 事業目的を達成するために、次年度に向けて残った課題を記載する。

(3) 事業実施方法の検証

※ 効率的・効果的に事業目的を達成するために、事業の実施方法に問題がなかったかを整理する。

総合判断	見直しの視点 ^{注1}
	<input type="checkbox"/> 事業目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 県関与の必要性 <input type="checkbox"/> 手段の有効性 <input type="checkbox"/> 手段の効率性 <input type="checkbox"/> 緊要性 <input type="checkbox"/> 該当なし
	見直しの方向
	<input type="checkbox"/> 廃止(廃止) <input type="checkbox"/> 廃止(民営化) <input type="checkbox"/> 廃止(国へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(市町へ移譲) <input type="checkbox"/> 廃止(休止) <input type="checkbox"/> 見直し・縮小(要改善) <input type="checkbox"/> 統合化(要改善) <input type="checkbox"/> 終期設定(要改善) <input type="checkbox"/> 現行通り <input type="checkbox"/> 拡充
	民間活力の活用 ^{注2}
<input type="checkbox"/> 人材派遣 <input type="checkbox"/> 業務委託・包括委託 <input type="checkbox"/> PFI・等 <input type="checkbox"/> 公設民営・民設公営・民設民営 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度 <input type="checkbox"/> 地方独立行政法人 <input type="checkbox"/> 協働・連携 <input type="checkbox"/> 現行通り	
今後に向けた改善のポイントと取組方向*	
<p>(1) 見直しの視点・方向、民間活力の活用の判断理由</p> <p>※ 見直しの視点・方向、民間活力の活用で該当する項目を選択した理由を記載する。</p> <p>(2) 課題への対応</p> <p>※ 残った課題に対して、次年度に向けて見直すべき取組はないかを検討し、今後の対応を整理する。</p> <p>(3) 事業実施方法の改善</p> <p>※ 効率的・効果的な事業実施のために、どのような改善を行う必要があるかを整理する。</p>	

【注1】

詳細は、別紙「事務事業の見直しの視点」の5つの視点を参照

【注2】

詳細は、別紙「三重県民間活力等活用指針（仮称）」を参照